

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	スーパー改革プラン推進事業		担当部署	企画総務部 財政課	
総合計画体系			根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 22年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期
(小項目)		行財政運営			
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進			
基本事業	1	スーパー改革プランの推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 公営企業会計や各特別会計を含めた全部門														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市の全部門の全体最適を考慮しながら、財政健全化や行政運営の効率化、職員と組織の能力向上など、有限な資源を最大限に活用するとともに、市民や地場企業等との協働による取組の推進など、地域力のさらなる向上を図り、経営体としての本市の総合力を高める。														
事業計画	30年度に何を計画していたか	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図る。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通会計基金残高</td> <td>2,317</td> <td>2,274</td> <td>1,930</td> <td>1,708</td> <td>-</td> <td>百万円</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	普通会計基金残高	2,317	2,274	1,930	1,708	-	百万円
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
普通会計基金残高	2,317	2,274	1,930	1,708	-	百万円										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	計画の進捗管理を通じて、各担当課との情報共有を図るとともに、市長を本部長とする鳴門市行政改革推進本部において、行財政改革の推進に向けた課題等について議論を行った。 また、予算編成過程においても、計画に掲げる中期財政収支見通しや財政健全化指標に留意しつつ、本市の将来をしっかりと見据えた未来志向のまちづくりを着実に推進できる予算となるよう努めた。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	普通会計地方債残高(臨時財政対策債除く)	17,133	16,704	17,989	17,060	-	百万円
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	普通会計基金残高		2,995	3,466	-	-	-	百万円
	目標達成率(実績/目標)			152.4	-	-	-	%
今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成30年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	0	0	0	0	0	0
		補正予算額	0	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	0	0	0
		決算額	0	0	0	0	0	0	0
		繰越額	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費			
		0.8	0.0	5,857	5,857				

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	0	0	0	0	0
	うち一般財源	0	0	0	0	0
	人件費	5,787	5,857	0	0	0
	総事業費	5,787	5,857	0	0	0

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		普通会計地方債残高が前年度より増加したが、計画の目標値は達成していることから概ね有効性があったと考える。
	効率性	B:概ね効率的だった		資料作成等、日頃から効率的な事務執行に努める。
②成果に対する評価	指標名	普通会計基金残高		普通会計基金残高について、目標を上回る額を確保することができた。
	目標	2,274	百万円	
	実績	3,466	百万円	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		財政健全化や行政経営の効率化、職員数の削減などに取り組み、基金残高の確保をはじめ、財政健全化目標の計画値を上回る見込みとなっている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市の財政状況は、市税収入が減少傾向にある一方、歳出面でも「扶助費の増大」や「公債費の高止まり」に加え、「公共施設の耐震化」や「防災対策」の推進など緊急性の高い施策に対しては可能な限り早急な対応に迫られているなど、依然として楽観視できる状態ではないことから、引き続き着実な行財政改革に取り組む必要がある。また、これまでの継続した行財政改革の結果、全庁的な取り組みや市民等に新たな負担を求めていくような難しい課題が多く残っているため、効果的かつ効率的なアプローチを検討する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図る。			
	R2年度	スーパー改革プラン2020に掲げる各種取り組み事項の着実な推進を図るとともに、次年度以降の新たな計画について検討を行う。			